

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0315	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	オートファジー性神経細胞死の分子細胞生物学的研究		
研究代表者名 (所属・職)	内山 安男 (順天堂大学・医学部・教授)		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
(評価意見)		
<p>本研究は、オートファジー、細胞死についての形態学的解析から出発し、Atg7 遺伝子のノックアウトマウスの解析などの遺伝学的解析データを積み上げ、オートファジーによる神経細胞死についての理解を深めたと判断する。</p> <p>一方、その分子機構の解明については部分的な進展に留まっており、論文発表についても遅れている部分が見受けられるが、これらについては今後の発展に委ねるべきと判断しており、研究代表者の更なる努力を期待する。</p>		